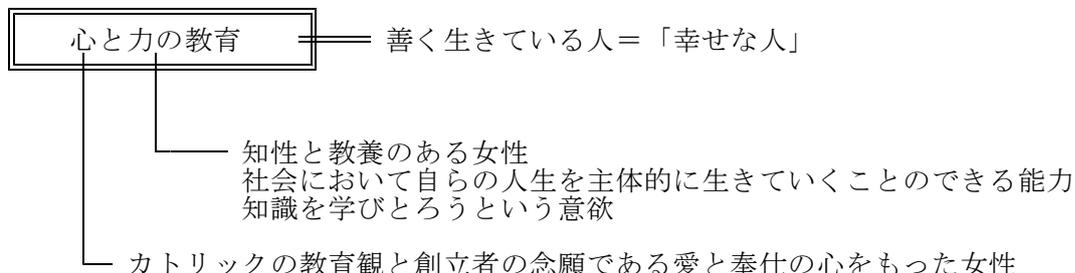


# 学校評価（自己評価） 2007～2013年度

聖セシリア女子中学校・高等学校では2007年度より、建学の精神に掲げられた「心と力の教育」に基づいた「幸せな人」づくりの学校として歩むために中期教育目標を設定し、これにむけて学校教育の改善を推進してきたので、この目標に対する自己評価を行います。

## I. 建学の精神と中期教育目標



## II. 中期目標

- 1 3ブロック制による完全中高一貫体制の生徒指導・教科指導を確立する。(2007～)
- 2 生徒の希望をかなえる進路教育を充実する。(2007～)
- 3 教育環境・施設の充実計画を設定し実施する。(2007～)
- 4 新しい学びの場としての学校のあり方を模索する(2013～)

## III. 実施項目と評価

上記の中期教育目標ごとに2007～2013年度にかけて具体的に実施した改善を記し、自己評価いたします。

### 1. 3ブロック制による完全中高一貫体制の生徒指導・教科指導の確立する。

- ①学則変更による中高一貫校化(2008年度より併設型中高一貫校へ移行)。  
2012年度より高校募集停止＝完全中高一貫校へ移行
- ②中高一貫教育の安定した環境と時間の中で、心身の発達段階に応じた3ブロック制教育プログラムを2007年度より開始し各ブロックごとの目標を次のように定めました。
  - Aブロック(中学1年・中学2年)→基礎養成期「体験・発見」
    - \* 基本的な生活・学習習慣を獲得させる。
    - \* 学ぶ楽しさを学ぶ意欲に結びつけさせる。
    - \* 互いに愛し信頼し合える関係を構築させる。
  - Bブロック(中学3年・高校1年)→自己確立期「探求・模索」
    - \* 視野を広げ自分の適性を探らせる。
    - \* 探求心を持って学習させる。
    - \* 他者との関わりを通して自律への脱皮をはからせる。
  - Cブロック(高校2年・高校3年)→自己挑戦期「発展・アイデンティティの獲得」
    - \* 品位と教養ある女性を育てる。
    - \* 学ぶことに喜びを見だし自己目標を実現する学力を身につけさせる。
    - \* 他者の幸せを自らのものとする生き方を求めさせる。
- ③3ブロック制の導入に合わせて学校行事の内容改編・再配置・統合・新設を行い、2009年度に完了した。その後2011・2013年度に更に内容改編・統合を行った。
- ④海外研修(希望制)の対象学年を中学3年からに拡大し、滞在先をマルタ島・ローマに変更。あわせて従来のホームステイ形式からヨーロッパ各国の同学年の学生とのドミトリー形式に変更した。

- ⑤ 3ブロックの特色を生かした新カリキュラムの策定  
 2008年度：現行カリキュラムの評価と検証→新カリキュラムの枠組と方向性  
 2009年度：新学習指導要領総則の説明・各教科のと各教科の内容検討開始  
 2010年度：各教科案発表・新学習指導要領における進路指導と特別活動  
 移行課程開始→中学完全実施（2012年度）・高校学年実施（2013年度）  
 2011年度：新カリキュラム・移行カリキュラム決定・公表  
 新カリキュラムに合わせて全教科シラバス改訂を実施  
 2012年度：中学校新カリキュラム・高等学校移行カリキュラム実施  
 2013年度：高校新カリキュラム実施  
 3ブロック制の目標・学習・生徒指導の点検・見直し・改訂作業を実施
- ⑥ 教師の授業力向上  
 ＊教科内授業見学の奨励＜2006～2007年度＞  
 ＊2008・2010年度に第三者機関による全教員の授業評価を実施→結果を全校保護者に配布。  
 この結果を受けて2009年度より授業力の向上にむけて（個人用・教科用）のテーマ設定を  
 設定し、年度末に課題を提出。  
 ＊主要5科は大学入試問題研究の実施と校外における教科指導研修会への参加を奨励。
- ⑦ カリキュラムサポート（＝授業外の学習支援）の充実  
 ＊長期休暇及び通常授業日の放課後の全学年講習・補習の制度化。  
 ＊土曜講座の充実＝56講座開講。  
 ＊高校3年対象入試直前国語対策講座の開講。  
 ＊ショートタイムにおける小テストの充実。  
 ＊2007年度より中学3年生数学に習熟度別授業を導入。  
 ＊中学生の家庭学習の習慣化を目指し「レコーディングスタディ（学習記録）」を中学3学  
 年で実施。（2013～）  
 ＊自学自習を支援するため学習センター・自習室の開館日・開館時間の延長（2013～）  
 ＊2013年度にカリキュラムサポートの成果の検討と見直しを行い、2014年度より  
 改善予定。
- ⑧ 英語学習の充実。（2007～2013年度に行った試み）  
 ＊英語検定の奨励・強化（ブロック別英検取得目標を設定・校内を会場として年2回実施）。  
 ＊英語の学習状況を把握するためGTECテストを（中学3年・高校1・2年で実施）。  
 ＊高校3年難関大学英語特訓講座（4～12月 平日7校時）開講→2013年度より英語ゼミ  
 に吸収。  
 ＊高校3年GMARCH講座（10月～12月 平日7校時）開講。  
 ＊高校3年入試直前英語対策講座（1～2月 平日1・2限）開講。  
 ＊高校2年難関大学英語特訓講座（1月～3月 平日7校時）開講。  
 ＊高校2年重要構文特訓講座＜土曜講座＞（4～2月）開講。  
 ＊中学ワードマスターテスト実施・中学英単語昇級昇段テストの実施。  
 ＊中学2年にイングリッシュ・エクスプレス（英語劇）の授業を導入。（2012～）  
 ＊中高全学年の英語の成績上位者に対し放課後に「英語ゼミ」を開講。（2013～）

## 2. 生徒の希望をかなえる進路教育を充実する。

- ① キャリアプログラムの実施  
 従来高校生を対象として実施してきたキャリアガイダンスをキャリアプログラムとして、  
 内容を改訂し、中学3年生から4年間で約80時間のキャリアプログラムとして再編し実施  
 した。その前段階として2013年度より中学1・2年生に「プレキャリアプログラム」を  
 試行。
- ② 生徒のキャリアプログラムの改訂に伴い保護者進路ガイダンス（高校各学年）の実施内容も  
 改訂した。
- ③ 進路カルテの導入  
 2011年度より在校生全員の「進路カルテ」を作成し、全教員がPC上で共有することに  
 よって、生徒の個別の学力の把握を行い進路指導に役立てる仕組みを導入した。このカルテ  
 をもとに個々の学力に見合った補習・講習・勉強合宿・特訓講座・習熟度別学習を実施して  
 いる。
- ④ 難関大学合格者数の数値目標を設置し（合格者数／卒業生数 40%）、2012・13年  
 度に目標を達成した。

### 3. 教育環境・施設の充実計画を設定する。

新校舎テレサ館（カフェテリア・保健室・学習センター・自習室・大教室・和室など）建築を中心に教育環境の整備に努めた。

- 2008年度＝高校1階改修工事（新職員室・玄関ラウンジ・印刷室・受付など）  
中学1階改修工事（新教室・資料室・準備室・トイレなど）・3階（美術・工芸室・準備室）  
中学全教室ロッカー入れ替え、中高トイレウオシュレット化  
アリーナ棟・中学旧校舎外壁塗装  
新LANシステム導入  
防災・安全器具の点検・取り替え
- 2009年度＝新校舎「テレサ館」の着工（11/20）  
緊急連絡システム「子ども安全連絡網」の稼働  
中学旧校舎内装改修  
学習センター検索システム導入・職員コンピュータ端末機入れ替え
- 2010年度＝新校舎「テレサ館」の完工  
小田急線側外構・フェンス改修工事  
駐車場/新テニスコート2面<グラウンド>設置工事完工  
アリーナ棟改修工事（セミナー室1・校長室1・倉庫2）  
高校校舎前インターロッキング補修工事・プレハブ校舎取り壊し
- 2011年度＝中学校舎屋上防水工事・校舎南面外装工事  
防災用品の点検・増数
- 2012年度＝高校校舎全面改修
- 2013年度＝中学校舎北面・アリーナ棟北面・東面外壁改修  
アリーナ棟視聴覚室内装改修  
防災倉庫Ⅱ設置

### 4. 新しい学びの場としての学校の模索

学齢期の生徒だけではなく、在校生の保護者・同窓生また地域の様々な年代の人々の学習の場としての学校のあり方を模索する。

- ① 2013年度に校内に「新しい学びの場としての学校」プロジェクトチームを設置。その提案に基づき、2段階に分けてSTEP1の講座を開始。施設の貸出規定を整備。  
→ 付属小・父母会・同窓生・教員の関連団体を対象  
→ 土曜・日曜および祝日の学校運営に支障のない時間、平日・土曜の18:00～20:30
- ② 2014年度よりSTEP1を実施し状況を見て、STEP2（一般団体の受け入れ）を試行する。

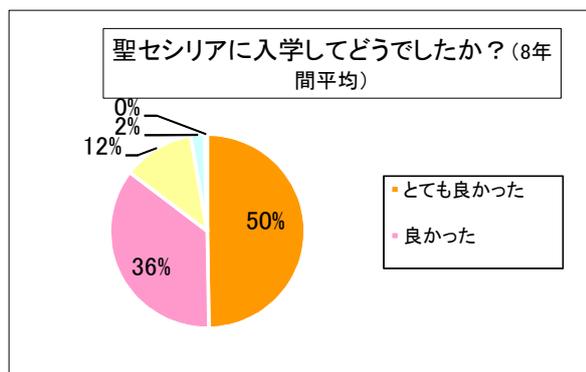
# 学校関係者評価 2007～2013年度

上記期間中、本校の全課程を履修した高校3年生の全生徒及び高校3年生の父母会委員・父母会役員より6年間の本校での学習と生活を振り返ってご意見と評価を頂き、次年度以降の改善に役立てた。

## 1. 高校3年生（卒業時アンケートより抜粋）

聖セシリアに入学してどうでしたか。

卒業年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	平均
とても良かった	25%	37%	53%	66%	47%	67%	53%	50%	50%
良かった	49%	43%	36%	25%	37%	24%	35%	36%	36%
どちらかという良かった	17%	16%	10%	7%	14%	9%	10%	12%	12%
どちらかという悪かった	9%	2%	1%	1%	2%	0%	2%	1%	2%
悪かった	1%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%



6年間の満足度を点数にすると何点ですか。

卒業年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	平均
満足度平均点	74.2	76.1	81.0	86.0	81.0	87.7	85.7	83.4	81.9

※中期教育改善目標の設定以後、生徒の学校生活への満足感が高まっている様子がうかがわれる。

## 2. 保護者評価（父母会役員及び高校3年生父母会委員のアンケートより） ※→は改善策

- 構成的エンカウンター（中学1～2年生で実施）の意味を子どもはあまり理解していないように思いましたが、多感なこの時期に行くことはとてもよいことだと思います。
- キャリアガイダンスは進路の選択に大変参考になり、自分自身と向き合うよい機会となりました。  
→2011年度よりキャリアプログラムとして精選・再編し実施しています。
- 校内で行われる夏期講習の内容は充実しており、なかなか他にはないと思います。  
→2012年度より中学3年・高校1年・高校3年は日数を増やして実施しています。
- オリジナル教材を使つてのキャリアガイダンスなどは、国語の表現力をつけ、自分の考えをまとめる上で大変役立っていたと思います。
- 6年間という期間を有効に使うためにも、ブロック制の中で進路と学習の強化を考えていただきたく思います。  
→3ブロックごとに新たに成績目標値を設定し、これにむけて学習指導の充実を図っています。
- 「フレッシュマンセミナー」と「サマーセミナー」は生きることを考えるよい機会になりました。
- 「生きる」をテーマにした「サマーセミナー合宿」は、高3夏の時期に行われましたが、勉強一辺倒になりやすい子どもの気持ちがりフレッシュして、いい顔になって帰宅しました。
- 最近の中高では遊びを含んだ行事が多くなっている中、「サマーセミナー」や「修学旅行」

などセシリアでは生きることや歴史について考える場であり、大変良いと思います。

- (9)「勉強合宿」は厳しい中でも皆との一体感を持ち、楽しく学べる場となりました。
- (10)土曜講座は進路に向けてとても充実した内容でした。
- (11)国際社会を担うであろう生徒たちにより実践的な英語教育が必要と考えます。  
→ 2012年度より中学2年生に「イングリッシュ・エクスプレス」を開校し、2013年度より各学年ごとに放課後「英語ゼミ」を開講しました。また2013年度より海外研修（希望者）の見直しを行い、マルタ共和国とローマに滞在し、研修内容を一新して実施しています。
- (12)卒業式や記念発表会などの記録はプロの方に撮影をしていただき、希望者が購入するようにはいかがでしょうか。シャッター音などで厳粛な雰囲気を損なわないためにも。  
→ 2008年度より入学式・卒業式のほか、全校行事は業者によるDVDの撮影を行い、後日希望者の方には販売を行うようにしました。
- (13)さまざまな行事、活動は情操を養い、友情のすばらしさを味わい、努力する大切さを感じるよい機会ですので、ぜひ残してほしいと思いました。
- (14)体育祭、学園祭などの行事をもっと増やしてもよいのではないのでしょうか。  
→ 2013年度より体育祭と聖セシリア祭（文化祭）を隔年実施としました。
- (15)学力優先の世の中で、他人を思いやり、人を信じるという教育方針はすばらしいものだと思います。多感な時期にとっても人間らしい教養を受けることができたと思います。
- (16)HP「在校生のページ」は学校生活の様子がよくわかり、読むのが楽しみでした。
- (17)少人数のクラス編成は先生方の目が行き届いてよいことだと思います。
- (18)父母会の活動のメインは青葉祭ですが、子どもたちが先生方と一体になって作り上げ、そのために父母同士でも親睦をはかることができ、すばらしい思い出となりました。
- (19)父母会活動は学年に関係なく協力しあって活動でき、父母会以外でもお付き合いできるような良い関係ができるとても楽しい父母会でした。
- (20)父母会で活動していなければ出席することのなかった行事などに参加することができ、大変思い出に残る一年間となりました。
- (21)親子で本当に楽しめ、学ぶことのできた6年間でした。
- (22)職員室が開放的で生徒と交流があるところは良いと思います。
- (23)6年間でじっくりと「幸せな人」作りをしていただいたと実感しています。優しい先生方が多く安心感がありました。今後はもっと長年教育現場に携わってきた先生ならではの信念で、毅然とした正しい厳しさを示していただいても良いように思います。
- (24)セシリアファミリーといわれるような温かい雰囲気は作ろうと思ってもすぐにできるものではないと思います。個人的にもセシリアの大好きなところですのでいつまでも大切に守り続けていただきたいと思いますし、私たちもそのような保護者でありたいと思いました。
- (25)大学受験に向けて様々な講座が増えてきていますが、先生方にはお忙しいと思いますが、「今後も続けていただくと嬉しいです。
- (26)合唱会はクラスの結びつきが強くなりますし、中学だけでなく高校でも開催していただければと思います。
- (27)中学2年生の「イングリッシュエクスプレス」は1回目の発表会から2回目の発表会にかけて子供達の成長を感じることができました。表現活動は大事な活動なので1年だけではとても惜しく感じられました。  
→ 2013年度より中学3年生・高校1年生希望者を対象に「イングリッシュエクスプレス」夏期特別講習を3日間実施しています。是非ご参加ください。
- (28)補習や成績上位者のためのゼミだけでなく、苦手な教科でも希望すれば受講できる任意の補習のような講座もあればいいと思います。
- (29)土曜講座は+アルファの学習に役立つようです。今後は国立受験者や理系受験者への対策の講座が増えれば良いと思います。
- (30)学習センターの利用日が増え、利用時間も延長して良かったです。長期の休みでは更に増やしていただけると、今までと変わらない生活のリズムを維持しやすくなります。  
→ 2013年度には夏期休暇50日のうち高校3年生にむけて40日間開館しました。

以上